

経営比較分析表（平成28年度決算）

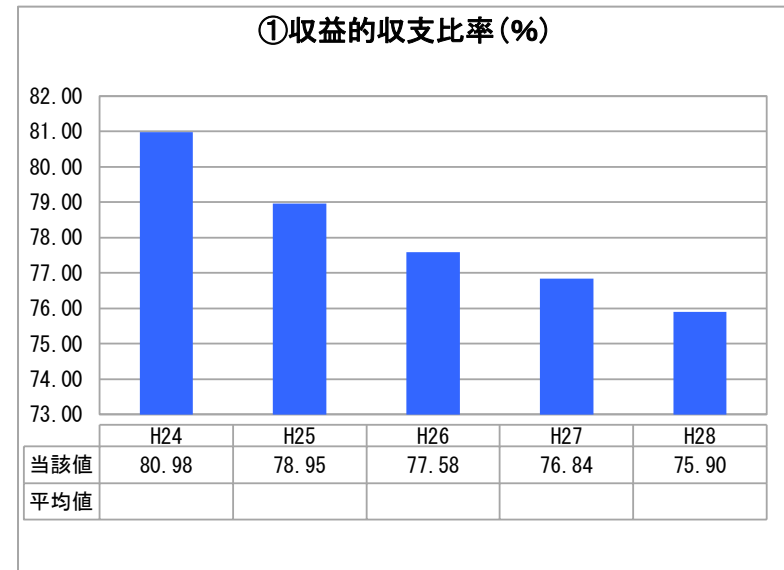
千葉県 長柄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.46	100.00	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,254	47.11	153.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,614	46.59	34.64

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



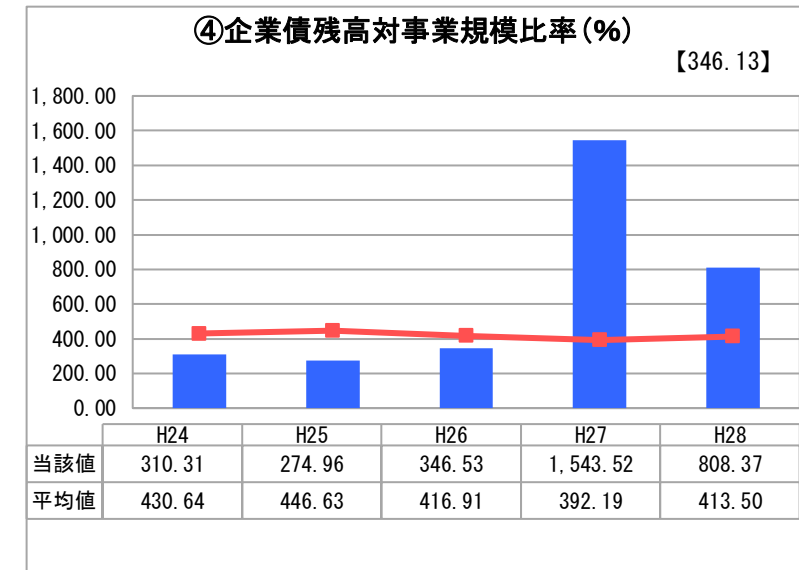
「単年度の収支」



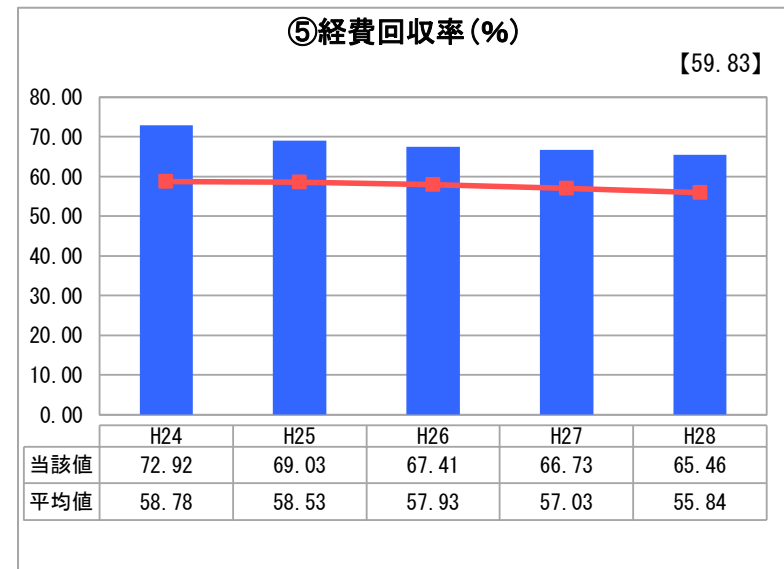
「累積欠損」



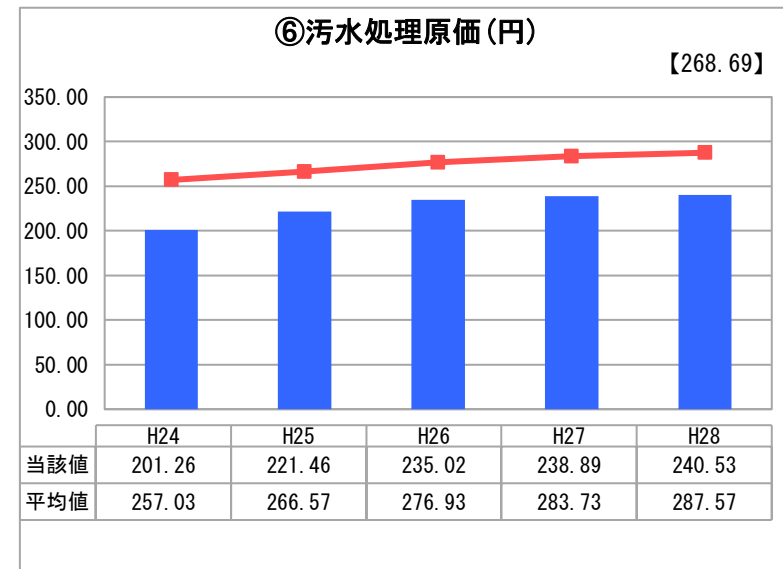
「支払能力」



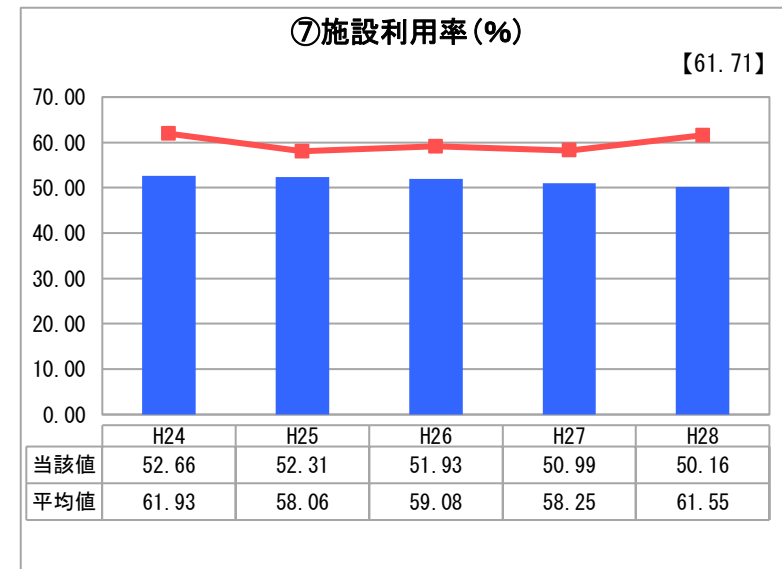
「債務残高」



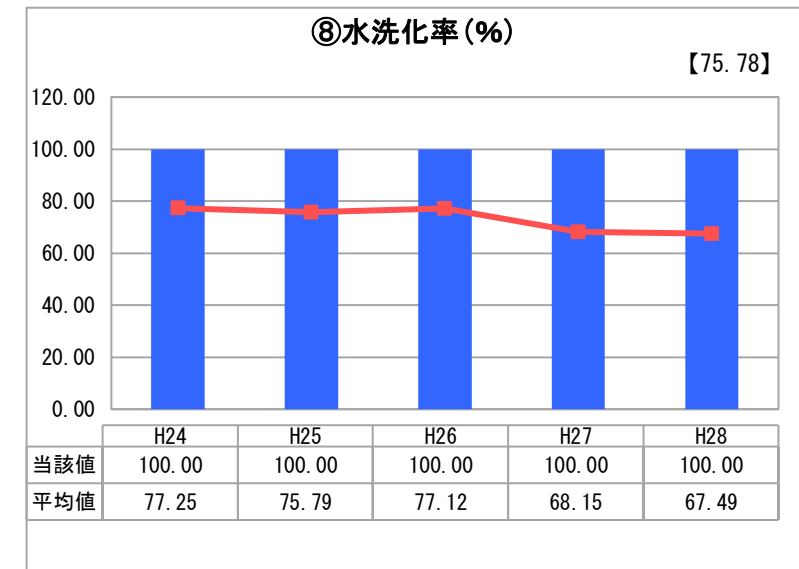
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

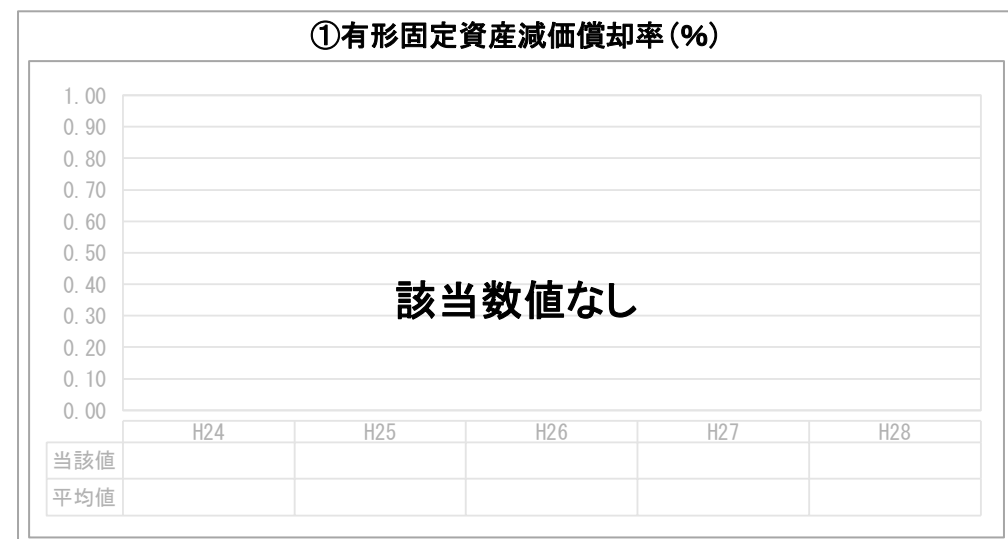


「施設の効率性」

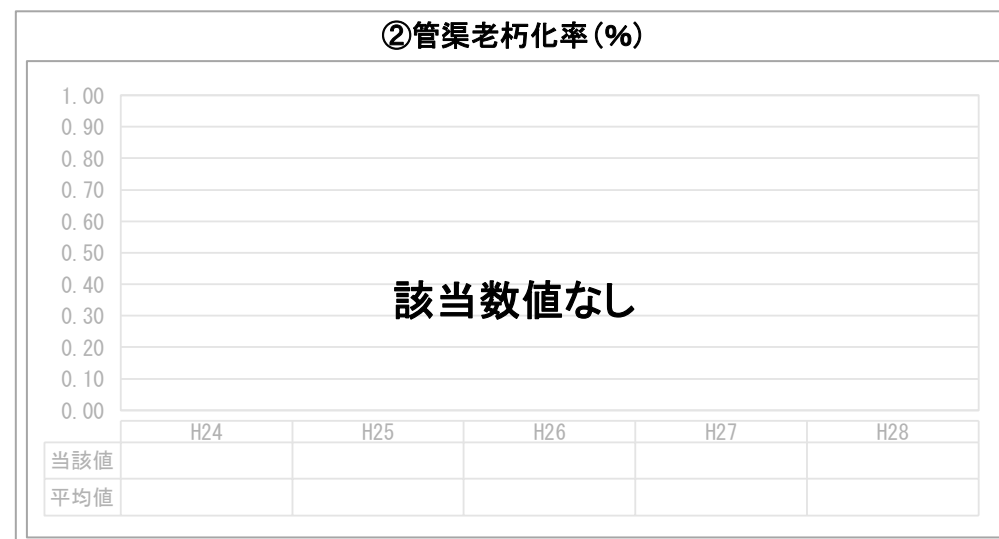


「使用料対象の捕捉」

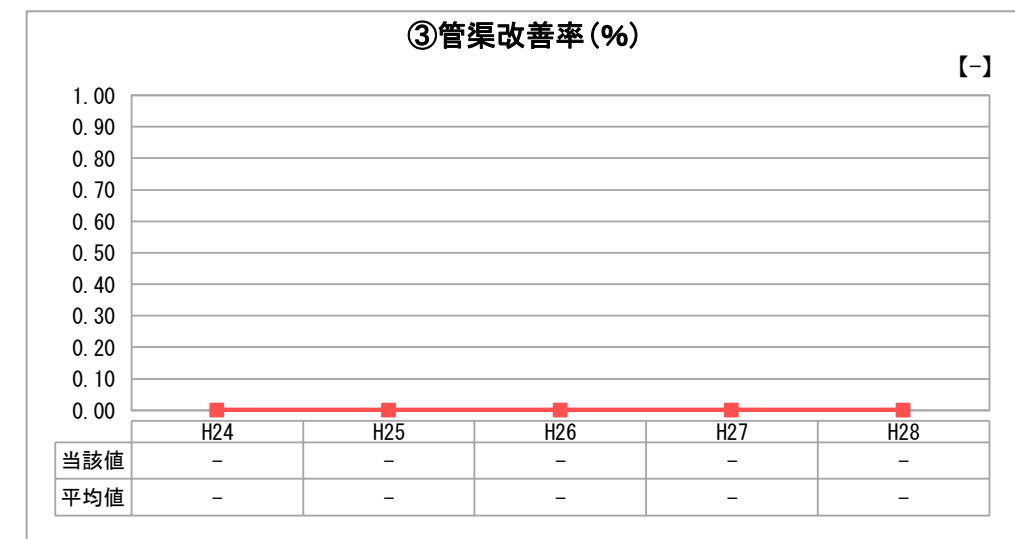
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について、比率が100%未満であり、かつ年々減少傾向にある。
 ②経費回収率について平均以上の数値を維持しているが100%未満であり、かつ年々若干の減少傾向にある。原因としては人口減少による人数割り使用料収入減少、管理する施設の増加、施設の経年劣化による修繕費の増加等が考えられる。
 ③汚水処理原価について年々微増の傾向にある。
 ④施設利用率について年々減少の傾向にある。原因としては、人口減少に伴う年間有収水量の減少による相対的な汚水処理原価の上昇、晴天時一日平均使用量の減少による相対的な施設使用率の減少と考えられる。また、今後も人口は減少し続けると考えられ、同様の傾向で推移していくと予想される。
 ⑤水洗化率について平均以上の数値を維持しており、経年比較による増減はない。

2. 老朽化の状況について

管渠について、維持管理は個人負担であり、町では把握していない。

浄化槽本体について、平成16年度の事業開始から現在13年目であり耐用年数を超えるものは無い。経年劣化等による破損が見られるものについては、その都度修繕を実施しているが、老朽化に対して具体的な対応計画は作成していない。今後必要に応じて作成を検討する。

全体総括

全体的に人口減少による使用料金収入の減少、使用水量の減少の影響がみられる。

①収益的収支比率、⑤経費回収率について、今後も使用料収入の減少、維持管理費・修繕費の増加が見込まれる。使用料金の改定等を実施し、経営改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。